

「スポーツ推進委員実技交流会」 園田有司（拜一小地区・5期目）

昨年の12月13日（土）、立川市と昭島市のスポーツ推進委員は、昭島市総合スポーツセンター第一体育室に集合し、実技交流会を開催しました。今回選択した種目は、『ミニサッカー』です。例年は、比較的運動量の少ない競技が多かったように思われますが、今回は参加したすべての委員が額から汗を流し、息切れするほどに頑張っていました。

競技は、実技研修会独自のルールで実施されました。参加者が40人であることから8チームを編成し、1チームはゴールキーパー1人、フィールドプレイヤー4人の5人制です。試合時間は、通して10分間としました。

試合球は、フットサル専用ボールを使用し、スローインではなくキックインで試合開始となります。キックオフゴールは認めず、キーパーのパンツキックとスローイングは、ノーバウンドでハーフラインを越えてはな

らないというルールで行いました。2面のコートを作り、各チーム3試合、合計12試合を行いました。サッカーが得意な委員も、そうでない委員も、わきあいと楽しくボールを蹴り合う姿は、新鮮で素晴らしかったです。

その後、委員の皆さんは、情報交換会でもゲームの話題に花が咲き、笑顔が絶えないひとときを過ごし、充実した実技交流会となりました。



「2014 青少年フェスティバルについて」

鈴木恵美子（つ南小地区・5期目）

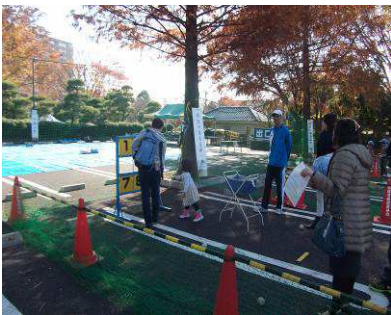
恒例の青少年フェスティバルが11月23日、市民会館、前庭及び駐車場等のエリアを使用して盛大に行われ、多くの市民でにぎわいました。

スポーツ推進委員は、駐車場のエリアでインドアペタンク、ストラックアウト、輪投げ、チャレンジ・ザ・ゲーム、ラインナップを担当しました。

1番人気は今回もストラックアウトで、前回を上回る人が参加しました。基本的には子どもが対象ですが、未就学児の場合は親も一緒に参加することもあり、最近はその子も結構参加しています。

内容は、10個のボールを数メートル先の1から9までの数字が書かれたボード目掛けて投げるもので、すべての数字を倒すのは難しく、いろいろ考えながら投げていました。パーフェクトは出ませんでした。

2番人気は輪投げで、それ以外の3種目はあまり知られ



てないようで、参加者は少な目でした。親子で一緒に楽しめるスポーツであり、もう少し日ごろのPRに力を入れていく必要があると思います。

平成26年度下半期の主な活動

10月○親子ふれあいスポーツデー（富士見丘小）
11月◎第123回歩け歩け運動

△都スポーツ推進委員広域地区別実技研修会
△都スポーツ推進委員広域地区別研修会

◎青少年フェスティバル

◎市民綱引き大会

12月△立川市・昭島市スポーツ推進委員実技交流会

○親子ふれあいスポーツデー（つ南小）

1月○新春体力づくり歩け歩け大会

○第60回新春駅伝競走大会

2月○社会教育関係委員研修会

○市民体育大会閉会式

○東京マラソン
2015

◎企画運営 ○役員等協力 △参加

編集後記

例年以上に寒さを感じたこの冬も、そろそろ終息のようで、春の気配が日ごとに感じられる季節となりました。

多くのスポーツが一斉に活動開始となります。徐々に体を動かかし、スポーツを楽しむとともに、健康づくりに努めましょう。

編集委員 川口・石川・奥秋・雨倉・宮本・吉川